

尿路結石に対する衝撃波・レーザー内視鏡治療について

尿路結石治療に対しては、体外衝撃波結石破砕装置（ドルニエ社 Delta-II）と、Quanta Litho レーザー（エダップテクノメド社）、軟性尿管鏡（オリンパス社）、腎盂軟性尿管鏡（LithoVue™、リソビュー）を用いる経尿道的結石破砕術を導入した低侵襲手術を行っております。

体外衝撃波結石破砕術（ESWL）：（日帰りもしくは1泊入院）



体外より衝撃波を結石に当てて、体を傷つけることなく結石を砕き、尿の流れに乗って体外に排出させる治療です。結石の位置、結石の硬さ、衝撃波発生装置から結石までの距離によっては、ESWL では砕石できないことがあります。

軟性腎盂尿管鏡レーザー結石破砕術（f-TUL）：（平均入院期間：3-4日）



尿道から軟性尿管鏡を挿入して直視下に尿路の結石を破砕する術式です。2センチ以下の結石が対象になります。2015年に尿路結石治療用レーザー（**Quanta Litho レーザー**）を導入しています。2019年12月より単回使用型軟性腎盂尿管鏡（**LithoVue™ リソビュー**）を導入しました。従来の内視鏡より軽く、操作性がよい特徴があり、腎結石の治療に使用



しています。

大きな腎臓結石や複雑な結石には**経皮的細径ネフロスコープ**（Storz, MIP XS）を用いて結石を経皮的に破砕・截石を行います。